

「いじめ・不登校対策等の推進」の取組事例

(1学期)

- ◆管内各小・中・義務教育学校において、いじめ・不登校の「未然防止」に向けた短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進、スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）等の専門スタッフと連携した校内対策委員会の定期的開催等、学校の組織的な取組が進められています。
- ◆その中から、取組事例（好事例）を以下に紹介します。
- ◆自校のいじめ・不登校対策等の推進に向けた参考資料としてご活用ください。

【「人間関係づくりプログラム」における取組事例】

学校	九重町立淮園小学校
取組	「すごろくトーク」
	小規模校のため全校で「人間関係づくりプログラム」を実施 
成果	○児童が自分の「振り返り」の内容を見返す場面がすべての学級であり、個々の成長を実感できている。 ○「人間関係づくりプログラム」を全校で行ったり、3学年（低・高）で行ったりしているので、学年の枠を超えて子どもたちの結びつきが深まっている。

【他校における「人間関係づくりプログラム」の成果】

自己理解や他者理解

- 自尊感情や他者肯定感の醸成
- 自分の感じ方や捉え方の変容を実感

児童生徒理解

- 心情の変化や気づきについての理解
- 次回の活動への反映

協調性や心理的安全性の向上

- 「誰かのために役に立ちたい」生徒が90%以上
- 児童同士の親和性の高まり
- 不登校児童生徒の減少

友好的な人間関係の構築

- 聞く力の改善やリーダーシップの育成
- 話し合いやすい雰囲気づくり
- 日常的なトラブルの減少